

令和2年 北海道小学校長会地区活性化支援事業 【実践事例レポート】

- 1 報告地区：宗谷地区
- 2 事例報告学校名：稚内市立大岬小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 佐藤 聖士
- 4 キーワード：学力向上

1 はじめに

本校は、宗谷岬から2キロ離れた場所に位置する、日本最北端の学校である。宗谷海峡からオホーツク海沿岸に沿った校区で、ホタテ魚を中心とする漁業が盛んな地域である。現在は第1・2学年が単式、第3・4学年、第5・6学年が複式で全校児童40名だが、児童数は増加傾向にあり、令和6年度には全学年単式を予定している。学校に協力的な保護者・地域、ともに宗谷中学校へ進学する宗谷小学校、富磯小学校とも連携し、地域全体で児童・生徒の生きる力を育てている。

2 本校の取組～学力向上のマネジメントサイクル(M-RV-PDCA)

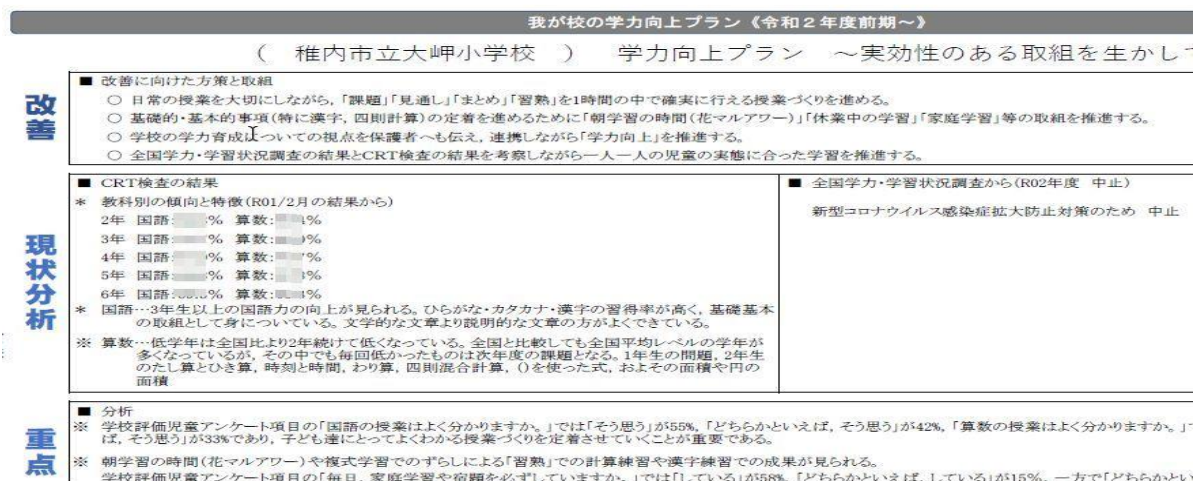
Mission	全国学力・学習状況調査において全児童が正答率全国平均を10%上回る
Research	全国学力・学習状況調査結果、及び全市的に実施するCRT式学力検査、「ほっかいどうチャレンジテスト」、「SOYAサポート問題」を活用し、本校児童の強みと課題を把握
Vision	国語では読解力、算数では計算力の向上と国語で鍛えた読解力を基に多様なテキストを読み解く力、そして練習問題に取り組む“体力”を向上させる
Plan	指導力の向上に向け、研修で共通理解を深め共通実践を進めるとともに、改めて学習指導要領の理解を深める
Do	【全国学力・学習状況調査問題は、未来で求められる力が問われている】 授業改善～児童の資質能力の向上に向け、学級の実態と個に応じたきめ細かな指導を行い、家庭との一層の連携を図る
Check	全国学力・学習状況調査、CRT式学力検査、各種サポート問題等の結果
Action	不断の授業改善へ

(1) 学力向上に対する取組と効果的な対応策

① 学力向上プランの策定とマネジメントシートの活用

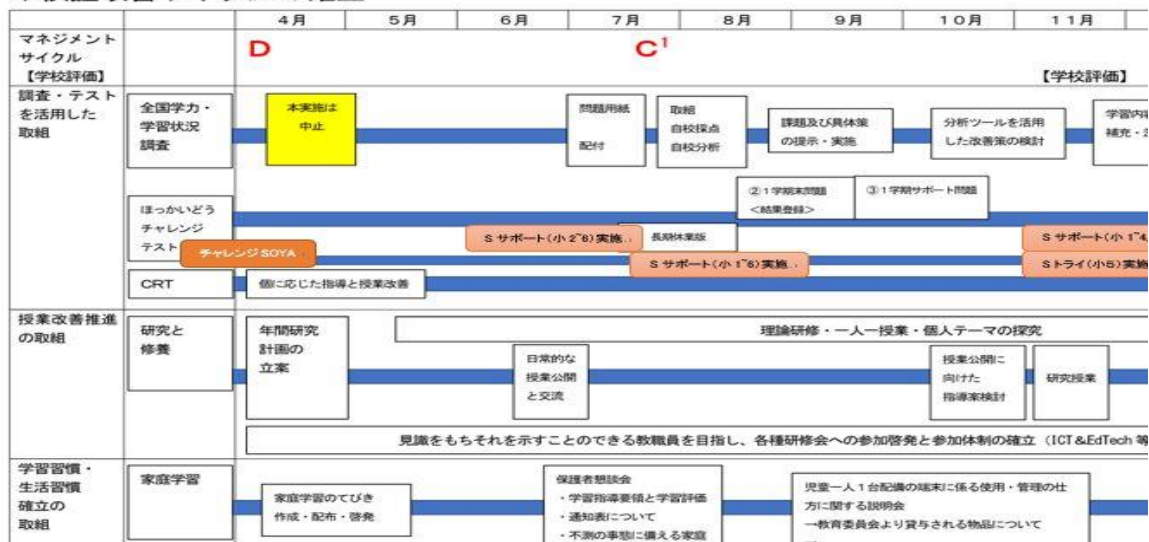
宗谷管内全小中学校が、学力向上プランを策定し、年間を見通した検証改善サイクルを推進しながら学力向上に取り組んでいる。

<図1：本校の学力向上プラン>



<図2：検証改善サイクル>

◆検証改善サイクルの確立



②ほっかいどうチャレンジテスト・SOYAサポート問題の取組

今年度は「ほっかいどうチャレンジテスト」に加えて、宗谷教育局より「SOYAサポート問題」の提供を受け取り組んできた。これまでのデータを基に、児童の苦手領域を克服すべく問題が作成されており、短時間で取り組めるよう工夫されている。

(2) 校内研修の充実

①個人の小レポート発表

まず、年間2回、自身で探究テーマを決め、小レポート発表を行うこととした。教職員は複式教育のベテラン揃いだが、新学習指導要領の全面実施にあたり、改めて改訂の趣旨や今日的かつ教科横断的な教育課題への理解を深めるべく取り組んできた。

②外部講師招聘

北海道教育大学旭川校の山中謙司学校臨床准教授をお招きし、令和2年1月と令和2年8月の2回、新学習指導要領の解説や指導と評価の一体化に関するご講話、さらに、第6学年理科「電気の利用」におけるプログラミング学習の指導をいただき、研鑽を深めた。前職が国立教育政策研究所学力調査官である山中学校臨床准教授の示唆に富んだお話を拝聴することにより、国が目指す教育、私たちに課せられたミッション、全国学力・学習状況調査に込められた意味や願いにふれたことは、自校の授業改善に資する大変貴重な機会となった。

<山中学校臨床准教授による講話>



<プログラミング学習の演習>

